

# 千葉市感染症発生動向調査情報

2020年 第34週 (8/17-8/23) の発生は？

## 1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	34週	33週	32週	31週
小児科	18	15	13	17
眼科	5	3	4	5
インフルエンザ*	28	22	21	27
基幹定点	1	1	1	1

上段:患者数

下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは  
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市					千葉県
		注意報	8/17-8/23	8/10-8/16	8/3-8/9	7/27-8/2	8/10-8/16
			34週	33週	32週	31週	33週
小児科	RSウイルス感染症		0	0	0	0	0
	咽頭結膜熱		0	0	0	1	3
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		7	5	3	5	35
	感染性胃腸炎		26	17	32	32	89
	水痘		2	1	1	1	13
	手足口病		6	2	0	1	9
	伝染性紅斑		1	0	0	1	2
	突発性発しん		10	12	12	10	35
	ヘルパンギーナ		3	0	1	0	1
	流行性耳下腺炎		0	1	1	3	7
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		0	0	0	0	0
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎		0	2	0	0	5
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎		0	0	1	0	0
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

## 2 全数報告対象疾患(45件)

※新型コロナウイルス感染症41件は数のみ

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	60歳代	病原体遺伝子の検出	結核	女性	50歳代	IGRA検査等
結核	男性	70歳代	病原体遺伝子の検出等	新型コロナウイルス感染症	男女	10歳代~80歳代	病原体遺伝子の検出等
結核	女性	40歳代	IGRA検査等	-	-	-	-

\*第34週は、結核4件(97)、新型コロナウイルス感染症41件(385)の発生届があった。

※ ()内は2020年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

## 定点当たり報告数 第34週のコメント

過去10年の同時期と比べると、全て平均未満又は報告無しとなっている。

<トピック>

<結核>

第34週に4件の発生届があり、2020年の累積数は97件となりました。2020年以前の過去5年（2015年～2019年）の届出数と比較してみると、2020年第34週の累積届出数は過去5年の同時期と比べると（2015年148件、2016年165件、2017年143件、2018年117件、2019年123件）、最も少なくなっています（図1）。2015年から2020年第34週までに届出された1123件についてまとめると、類型別では、患者が811件（72.2%）、無症状病原体保有者が299件（26.6%）、疑似症患者が7件（0.6%）、感染症死亡者の死体が2件（0.2%）、感染症死亡疑い者の死体が4件（0.4%）となっています。届出数は2016年以降減少していますが、無症状病原体保有者の割合は増加しています（表1）。これらのうち、類型が患者及び無症状病原体保有者であった1110件の性別については、男性701件（63.2%）、女性409件（36.8%）と男性が多くなっています。このうち、患者811件の性別は、男性539件（66.5%）、女性272件（33.5%）と男性が女性のほぼ倍でしたが、無症状病原体保有者299件の性別は、男性162件（54.2%）、女性137件（45.8%）と男性と女性の比率がほぼ同じになっています。

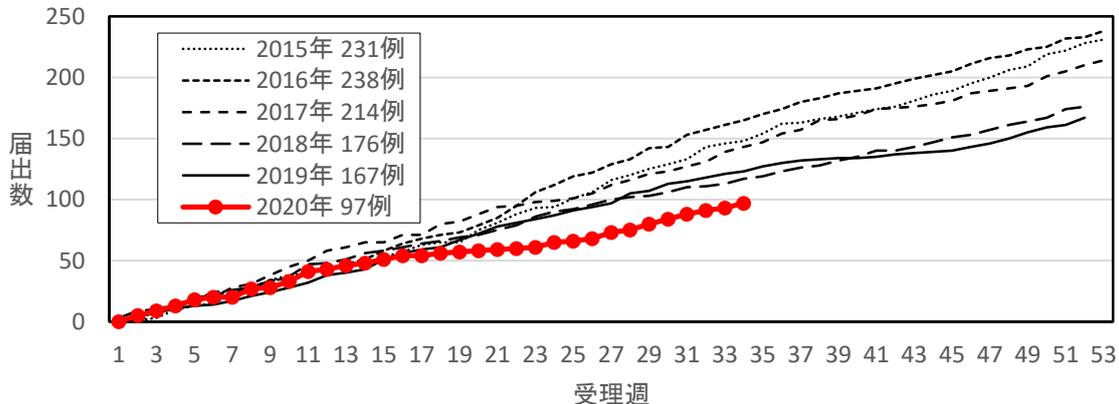


図1 結核 年別届出累積数(2015～2020年34週)

表1 結核 年別・類型別届出数(2015年～2020年第34週)

類型	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年第34週		合計	
	届出数	%	届出数	%	届出数	%								
患者	188	81.4%	171	71.8%	154	72.0%	122	69.3%	111	66.5%	65	67.0%	811	72.2%
無症状病原体保有者	43	18.6%	61	25.6%	58	27.1%	51	29.0%	54	32.3%	32	33.0%	299	26.6%
疑似症患者	0	0.0%	4	1.7%	1	0.5%	1	0.6%	1	0.6%	0	0.0%	7	0.6%
感染症死亡者の死体	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	1	0.6%	0	0.0%	2	0.2%
感染症死亡疑い者の死体	0	0%	2	0.8%	1	0.5%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	4	0.4%
	231	100%	238	100%	214	100%	176	100%	167	100%	97	100%	1123	100%

年齢階級別の届出数を患者と無症状病原体保有者について性別に図2～図5に示しました。患者では、男性は60歳代から70歳代に多く、女性は70歳代から80歳代に多く、20歳代では2018年から2019年にかけて増加しました。無症状病原体保有者では、男性は30歳代から60歳代に多く、50歳代は2020年になって急増しており、女性は40歳代から50歳代で多く、50歳代は2019年に急増しました。

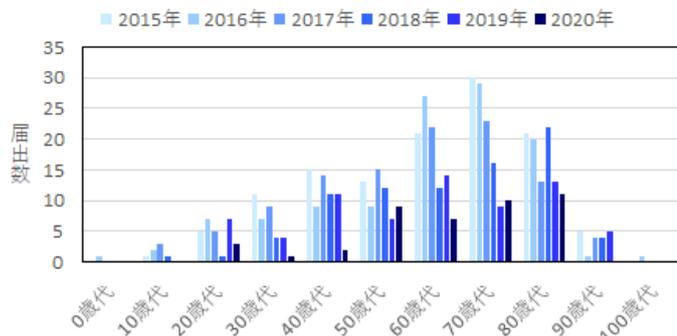


図2 結核 2015年～2020年第34週の届出数  
男性患者 年別・年齢階級別

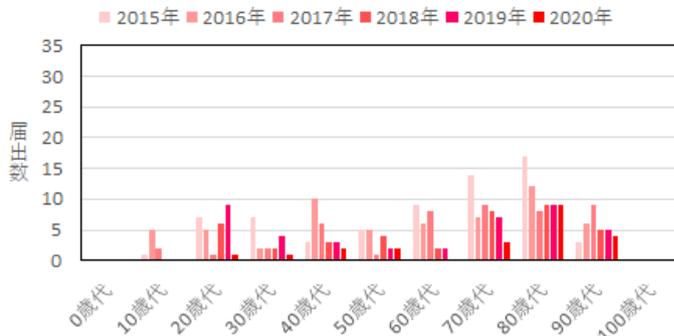


図3 結核 2015年～2020年第34週の届出数  
女性患者 年別・年齢階級別

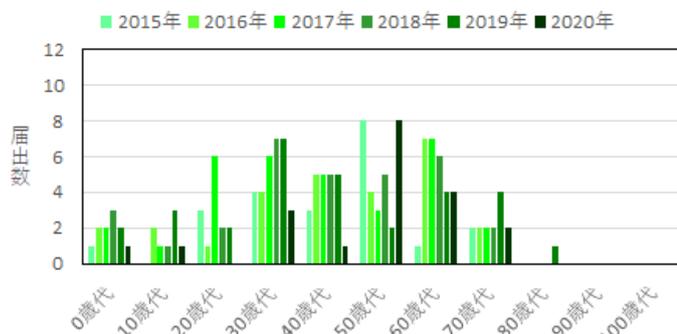


図4 結核 2015年～2020年第34週の届出数  
男性無症状病原体保有者 年別・年齢階級別

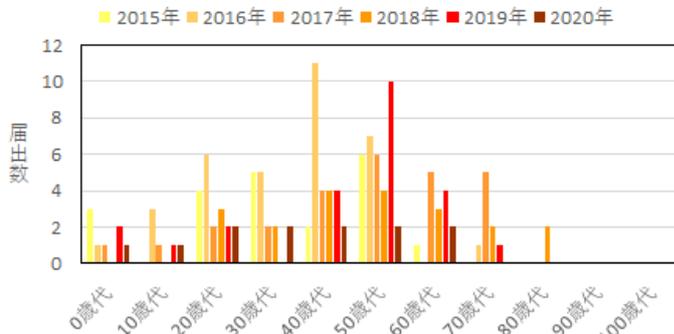


図5 結核 2015年～2020年第34週の届出数  
女性無症状病原体保有者 年別・年齢階級別